

開催報告 ーふるさと大学「伊予塾」ー

西条市に縁のある在中華人民共和国日本国大使館公使、山崎和之氏にご講演いただきました

愛媛県にゆかりのある著名人をお迎えし、郷土の発展・振興のために講演をいただくふるさと大学「伊予塾」第36回講座（主催・愛媛新聞社ほか、共催・西条市）が、1月26日に市総合福祉センターで開催され、会場は150人余りの受講者で埋められました。

講師を務めていただいたのは、母方の祖父が当市出身で、在米国日本国大使館公使も歴任され、現在、在中華人民共和国日本大使館公使・経済部長の山崎和之氏。



▲講師を務められた山崎公使



▲意見交換会の様子

講座に先がけて市総合文化会館で開催された山崎氏と西条市および地元企業との意見交換会では、山崎氏からは、中国の現状や日本のおかれている状況など、西条市や地元企業からは、西条市や企業の海外市場を視野に入れた取り組みなどについて情報交換を行うことができました。

また、「中国経済の今」と題した講演では、経済発展を遂げてきた中国の変遷や、その勢いに陰りは見られるものの世界経済においてはまだまだ成長を続けている状況、そうした反動で国民の生活格差の広がりや、インフラ整備が追いついていないため悲しい事故や環境汚染が進んでいることなど、中国の内政課題についても示されました。

さらに日中関係においては、経済連携を図ることがお互いに繁栄していくために重要なことであるとも指摘されました。

そして最後に、第二のふるさとである西条市をぜひとも応援したいという力強いエールが送られました。



▲西条への思いも語る山崎公使



フエウォッチング

野菜は八百屋で、肉は肉屋で、豆腐は豆腐屋で。以前は日本人も、夕食の支度にいくつもの店へ足を運んだのではないのでしょうか？ ここベトナムには、まだそのような風景が残っています。外資系の大型スーパーも何軒か出現していますが、それでも「市場」が市民の生活の中心の場となっています。

朝、その日に使い切る量を市場で購入し、新鮮なうちに調理します。市場には値札なんてありません。そんな市場には会話があふれています。店の人との値段交渉を楽しむ声、おばちゃん達の井戸端会議、いつ訪れても活気があります。その土地ならではの果物や香辛料が並べられ、調理法や食べ方も親切に教えてくれます。ベトナムの生活に興味があれば、市場を訪れてみるのもおもしろいですよ！



フエのドンバ市場の様子

フエ市防災教育支援事業
コーディネーター 中村範子



えひめの南予いし博2012

愛媛県宇和島圏域 観光振興イベント

宇和島圏域観光振興イベント「えひめ南予いし博2012」がいよいよ開幕します。複雑な入江を抱く宇和海、南予アルプスとも呼ばれる鬼ヶ城山系、四万十川の源流となる清流と渓谷、それら豊かな自然と深く結びついた人々の暮らし。そして、訪れた人を温かくもてなすお遍路文化。

ふるさとの原風景、日本の宝とも言える魅力があふれるこの地域で、「うみ」「かわ」「もり」「ひと」の魅力に会い、癒され、心身ともに元気になれるイベントプログラムを多数ご用意してお待ちしております。

■実施期間

4月22日(日)～11月4日(日)

■会場

宇和島圏域（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）

■いし博HP

<http://www.iyashihaku.jp/>